ＴＣＬ－Ｂ型変位変換器

取扱説明書
Ｃ２

当社の変位変換器を御買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。ご使用前に必ず本書を御熟読頂き正しく御活用頂くよう御願い申し上げます。

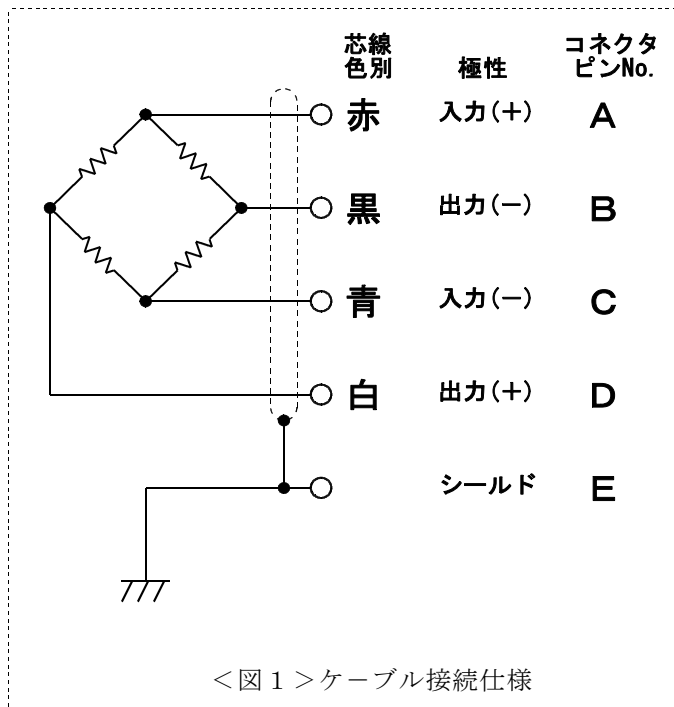
●ケーブルの接続方法

本器のケーブル接続仕様を＜図1＞に示します。
接続を間違えますと初期平衡がとれなかったり、変位を測定した場合の出力電圧に誤差を生じますので御注意下さい。

●最大許容印加電圧

最大許容印加電圧（AC／DC）	6 V
推奨使用印加電圧（AC／DC）	4 V

＜表１＞

＜図１＞ケーブル接続仕様

●取付方法と取付上の注意

取付は＜図２＞に示す様に取付穴を利用しＭ６（取付穴 φ6.5）のボルト１本で取付台に固定します。（※１）

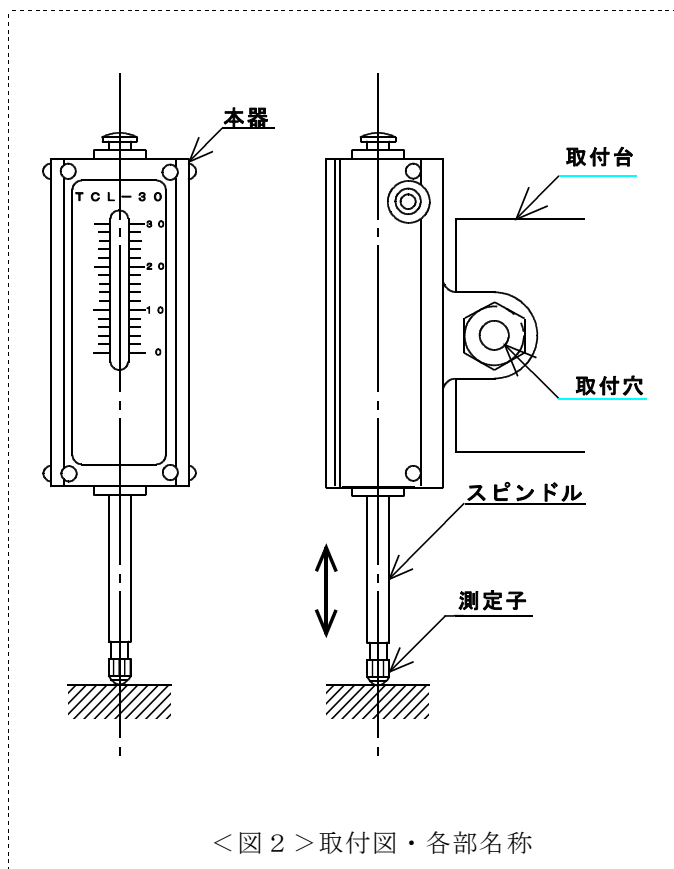
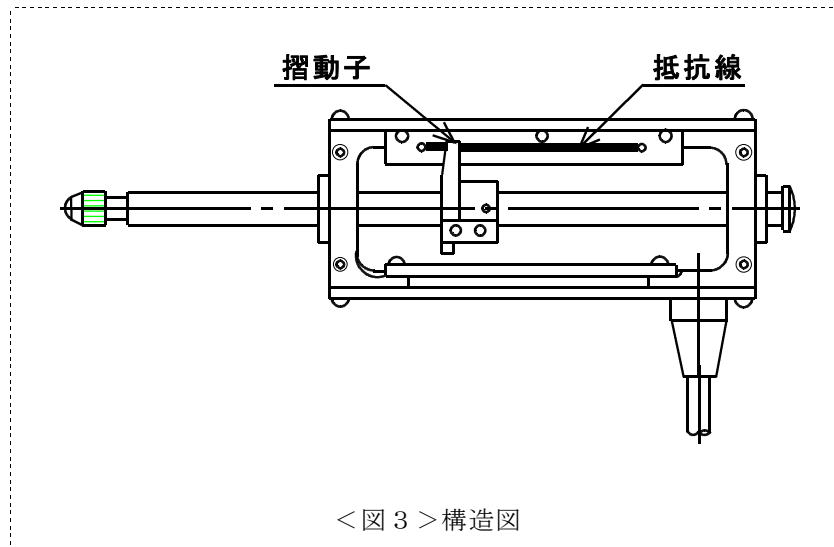
本器の性能を発揮させるために次の点に留意して下さい。

① 測定物の変位方向とスピンドル作動方向は一致させて下さい。

② 本器は＜図３＞の様に抵抗線上を摺動子が移動して、変位出力を検出する構造ですのでノイズが発生した場合は、#1000 ～ #1200 のサンドペーパーで抵抗線上を軽く研き、更に乾いた布等にてゴミ・汚れを拭き取って下さい。

③ スピンドルには注油しないで下さい。ゴミ等が付着してスピンドルの動きが悪くなります。

④ スピンドルを押し込んだ状態（測定状態）から一気に放しますと、反力により破損する恐れがありますので御注意下さい。

＜図２＞取付図・各部名称

⑤　取付台に固定する場合及び測定子を測定箇所の形状などにより交換して使用する場合、スピンドルに振りや曲げを与えない様に注意して下さい。

＜図３＞構造図

⑥　測定反力（始点、終点）は＜表２＞を参照して下さい。

形　式　名	始点反力	終点反力
ＴＣＬ－　５０Ｂ	１．９Ｎ	３．５Ｎ
ＴＣＬ－１００Ｂ	１．９Ｎ	３．２Ｎ

＜表２＞

※１．取付方法など、詳しい説明が必要な方は弊社営業所まで御連絡下さい。

●使用環境について

１.本器は防水構造ではありません。湿気や水の掛かる場所で使用しないで下さい。

２.ケーブルは引っ張たり、曲げたりしますと、断線する場合がありますので注意して下さい。また、ケーブルが動く場合は固定をして下さい。

３.温度補償範囲は

０～　５０℃　です。

４.本器は振動がある場所で使用すると、ノイズが発生する場合がありますので注意して下さい。

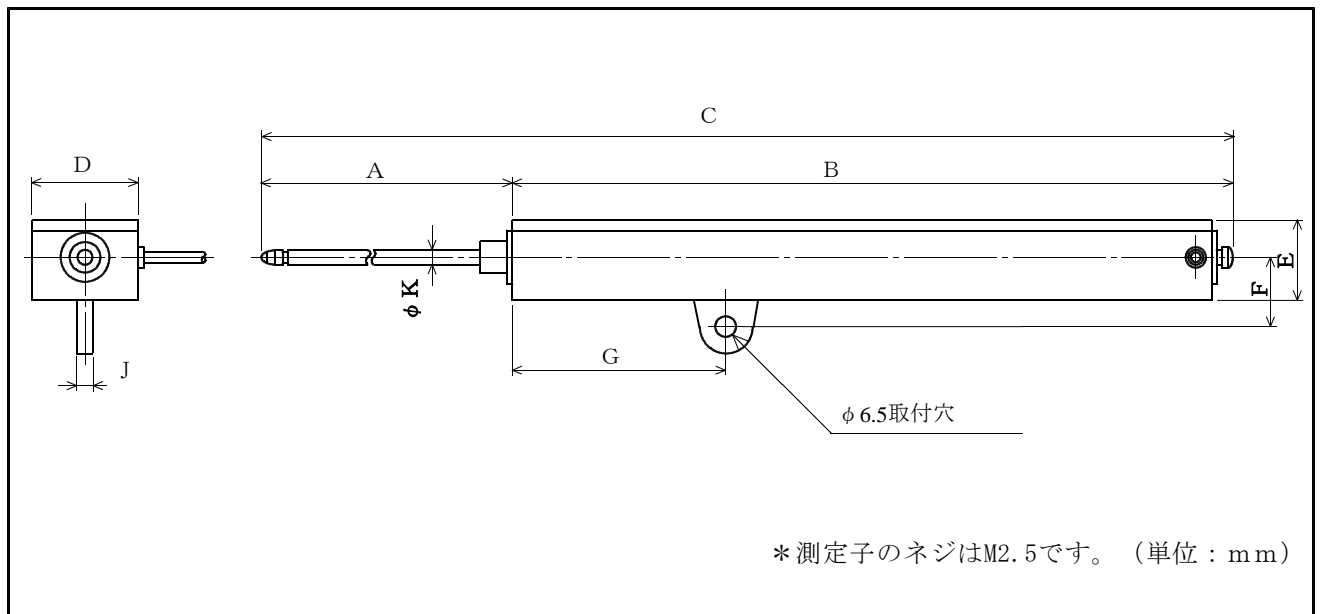
●保守について

本器の品質を維持されるために、年一回の定期点検・校正（共に有償）を御受けられる事を御奨めします。

●保証について

本器は御買い上げ後、一年間の品質保証を行っています。正規の御使用(保証期間中)におきまして万一故障・欠陥等が発生しました場合は無償にて修理を致します。その場合には弊社営業所または御購入頂きました販売店まで御連絡を頂き、故障状況を御説明なさった上で現品を御送付して下さい。但し、お客様での誤使用・分解改造等の正規の御使用以外での場合は原則的に有償とさせて頂きます。

また、故障状況によっては修理不能の場合もございますので予め御承知おき下さい。

●寸法図

●寸法表（単位：ｍｍ）

型式名	定格変位	A	B	C	D	E	F	G	J	K
TCL- 50B	50 mm	67	96	169	32	27	27	40	6	5
TCL-100B	100 mm	117	153	276	32	27	27	70	6	5

仕様

ＴＹＰＥ	ＴＣＬ－Ｂ型変位変換器
定格変位	５０ ，１００ｍｍ
定格出力	５０００×１０$^{-6}$ ひずみ ±１％（ ５０Ｂ） １００００×１０$^{-6}$ ひずみ ±１％（１００Ｂ）
直線性	０．２％Ｒ．Ｏ．
ヒステリシス	０．２％Ｒ．Ｏ．
繰り返し性	０．１％Ｒ．Ｏ．
許容印加電圧	６Ｖ，推奨４Ｖ
入力抵抗	１２０Ω
出力抵抗	１２０Ω
温度補償範囲	０ ～ ５０℃
許容温度範囲	０ ～ ６０℃
零点の温度特性	０．０３ ％Ｒ．Ｏ．／℃
ケーブル	φ４ｍｍ、４芯シールドケーブル、０．３ｍ
先端コネクタ	ＰＲＣ０３－３２Ａ１０－７Ｆ
その他	

株式会社 昭和測器

本 社 121-0812 東京都足立区西保木間1-17-16 TEL 03-3850-5431 FAX 03-3850-5436
工 場 121-0064 東京都足立区保木間5-24-27 TEL 03-3858-3241 FAX 03-3859-1240
大 阪出長所 550-0006 大阪市西区江之子島1-5-16新三輪ビル TEL 06-6448-3412 FAX 06-6448-0875

1997年 9月 第1版 発行
2009年12月 第4版 発行